

令和4年8月号

算数・数学チャレンジクラブだより



夏が暑いのは なぜ
いいことなのか
かがエル

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号
Tel076(221)2061 Fax076(221)2062

e-mail kodomokagaku-oubo@kanazawa-city.ed.jp

もうすぐ夏休みですが、クラブ員の皆さんは楽しく過ごしていますか。体調を崩さないように注意し、夏を満喫してください。

今後の予定表

通常講座時間 10:00~11:45

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
8月	8月27日(土) A組 プログラミング B組 ルービック キューブ	8月6日(土) 4色問題 8月20日(土) 6年生特別講座 講師：明星学苑 校長 細水 保宏 氏	8月28日(日) 中1 素数について 中2 循環小数からの プレゼント 中3 音楽と数学	8月7日(日) 新しい先生と来年の 算数オリンピックに 向けて船出します
9月	9月3日(土) A組 ジャマイカ B組 アルゴゲーム 9月17日(土) A組 アルゴゲーム B組 ジャマイカ	9月24日(土) パズル詰め合わせ	9月4日(日) 中1 身の回りの生活 中2 一刀切り 中3 整数の問題	9月25日(日)
10月	10月1日(土) 4色問題		10月16日(日) 中1 お年玉獲得大作戦 中2 ピックの定理 中3 オイラーの公式	10月2日(日)

お知らせ・お願い

① 「6年生特別講座」について

8月20日(土)開催の6年生特別講座は、明星小学校校長の細水保宏(ほそみずやすひろ)先生が講師となります。講座名は『やっぱり 算数っておもしろい!~「はてな?」「なるほど!」「だったら~」で算数を楽しもう!』です。算数のよさや美しさ、考える楽しさを味わう算数的な活動を通して算数好きを増やすことをねらいとしています。著書もたくさん出版している日本のとても有名な算数の先生です。算数オリンピックにも関わっておいでる先生です。当日の活動は、はさみやのり、セロテープを使って頭だけでなく手も駆使する学習のようです。どんな活動が展開されるのかとても楽しみです。

② 思考力検定について

2022年度の思考力検定は、11月5日（土）と2月25日（土）に団体受検を行います。算数の難問に挑戦する算数オリンピック検定とは違って、思考力検定は粘り強く考え抜き解決していく力を求めています。財団では問題集の発注・購入・配付は行っていませんので、思考力検定のウェブサイトから個人で注文してください。パンフレットは財団で取り寄せて、8月終わりまでにクラブ員全員に配布します。9月になったら、検定の受付を始めますので、希望者は9月末日までに検定料を添えて申し込んでください。以下は受検級の目安（学年レベル）と検定時間です。検定料は級によりますが2000～4000円くらいです。チャレンジクラブ員・オリンピック講座員の兄弟姉妹であれば、受検を受け付けます。

準2級	高校1年程度	90分	3級	中学3年程度	60分	4級	中学2年程度	60分
5級	中学1年程度	60分	6級	小学6年程度	50分	7級	小学5年程度	50分
8級	小学4年程度	45分	9級	小学3年程度	45分	10級	小学1～2年程度	45分

③ 算数・数学チャレンジクラブの各回のお知らせのログイン方法

各回の講座について、各自で財団ホームページからチェックしてください。次回の講座のお知らせ（場所や持ち物）は2週間前には掲載します。ログイン方法は、財団のホームページを開く→イベント一覧→自分の学年のタイトルをクリック→パスワード（お報せ済み 忘れた方はメールを送っていただければ返信します）を入力し、認証ボタンを押す→各学年の年間の予定表の一番最後に次回の講座の内容や持ち物のお知らせが出てきます。普段はご自分でご確認ください。個人にメールをするのは、緊急時や急なお知らせがある場合のみとさせていただきますので、ご了承ください。

5月・6月講座から

中学1年生 『数学脳トレにチャレンジ』

□の中に＋・×・÷を入れて、2022年＝令和4年の式を完成させよう。【2□0□2□2＝4】から始まって、難解計算バトルが勃発しました。グループで小町算の例を話し合ったり、フリーマン数になるよう相談したりして、数学を楽しく学びました。（→）



中学2年生 『暗号と数学』

暗号の仕組みを知り、情報を分析し、暗号の式を計算して解読方法を見つけ出していました。連立方程式を使えば、暗号を解読できることを知り驚いていました。（→）



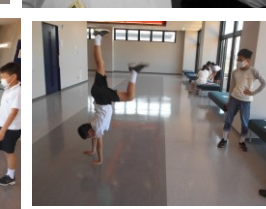
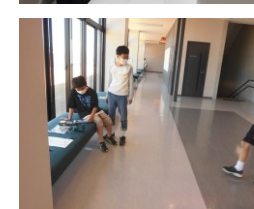
中学3年生 『薬の数学』

薬の仕組みと効き目の説明を受け、安全に効く薬の量を求めました。電卓を駆使して、有効血中量を算出しました。薬が効く安全な範囲について、どこに着目すればいいのか指導を受けました。（→）



小学6年生 『歩いてグラフをつくってみよう』

グラフ電卓を使うと自分が歩いた跡がディスプレイ上に折れ線グラフになって出現しました。歩いたり走ったり、ジャンプしたり全員で役割分担をしてフォーメーションを決め、複雑なグラフを作成していました。（→）



小学5年生 『プログラミング』

初めに自分の動きをプログラムして、テラスに出て伸びをするシミュレーションをしました。iPadを使って「プレイグラウンド」のプログラミングに挑戦しました。二人で相談しながら英語で「Turn left!」などの指示をディスプレイ内のプレイヤーに出して自由に動かしていました。（→）

